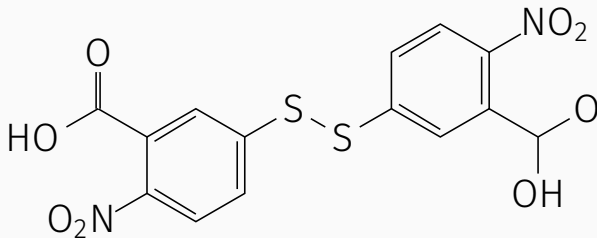


SH 酵素

活性中心にシステイン残基を持ち、そのメルカプト基 $-SH$ の存在が活性発現のために必須である酵素の総称 (理化学辞典)



- ・ チオール基を定量する試薬.
- ・ $-SH$ が存在すると、 $-SH$ の量に相当する両の $S-S$ 結合が切れて、安定な 5-Mercapto-2-nitrobenzoic acid を生成する.
- ・ 生成物の吸収: $\lambda_{max} = 412nm$, DTNB の吸収: $\lambda_{max} = 325nm$